10月
東田布施小
だより

金　声

令和８年１０月１日

〈めざす児童像〉
「進んで考える子」
「思いやりのある子」
「たくましくがんばる子」

一人ひとりを大切にする学校づくり
～名前の呼び方から考える人権～

人権教育担当　大村　怜未

本校では、今年度の人権教育の取組の一つとして友達の名前を「さん」付けで呼ぶことを働きかけています。普段、何気なく使っている呼び方ですが、名前をどのように呼ばれるかによって、嬉しい気持ちになったり、反対に悲しい気持ちになったりすることがあります。そこで、「相手の立場に立って考えること」「相手を大切にすること」の第一歩として、名前の呼び方について考える取組を進めています。

これまで、子どもたちは友達のことを呼び捨てやあだ名で呼ぶことがありました。しかし、「自分がその呼び方をされたらどんな気持ちになるかな」「どんな呼び方をされたら嬉しいかな」と考える中で、相手の気持ちを意識する姿が少しずつ見られるようになってきました。「さん」を付けて呼ぶことは、単に言葉遣いを丁寧にするためだけのものではありません。一人ひとりの存在を認め、大切にする気持ちを表すことにつながると考えています。名前を呼ぶという身近な場面から、友達の気持ちを考え、互いを尊重する心を育てていきたいと思います。

また、人権を大切にするということは、特別なことではありません。友達の話を最後まで聞くこと、困っている友達に声をかけること、失敗した友達を責めないこと、相手の気持ちを考えて言葉を選ぶなど、毎日の学校生活の中にたくさんの人権教育があります。

これからも、子どもたちが「自分も大切にされている」「友達も大切な存在だ」と感じられるような学校づくり、学級づくりを進めていきます。そして、誰もが安心して過ごすことができ、一人ひとりの違いや思いを認め合える学校を、子どもたちと一緒につくっていきます。

ぜひご家庭でも、「友達からどんなふうに呼ばれたら嬉しい？」「相手が嬉しくなる言葉ってどんな言葉かな？」など、名前の呼び方や言葉について話す機会をつくっていただければと思います。学校と家庭が一緒になって、子どもたちの「人を大切にする心」を育んでいきましょう。



＜１０月の参観日・人権教育講演会の開催について＞

【日時等】　令和８年１０月３０日（金）
＊１３：４０～１４：２５　授業参観（各学年教室等）
＊１４：４０～１５：２５　人権教育講演会（体育館）３～６年参加

「あなたもわたしも大切な存在　～呼び方から考える人権～」
講師：田布施町更生保護女性会　谷　茂子　様

講演会では、講師の先生のお話を通して、一人ひとりが大切にされることや互いを認め合うことについて、子どもたちと一緒に考える時間にしたいと思っておりますので、たくさんのご参加お待ちしております。

東小トピックス

学校保健安全委員会　9／11（金）

参加者は、6年生児童・PTA・教職員で、今回のテーマは「歯の健康」でした。特徴的だったのは、自己管理能力を育てるとしたところです。その企画・運営は保健委員会やPTA保体部が行いました。

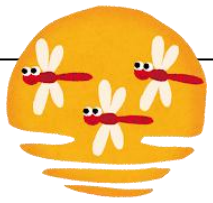
まず、歯科衛生士の方から専門的な視点での講話があり、その後に、「歯ッピーランド」と命名された、自身の歯の健康について主体的に考えさせてくれる体験等がありました。形態としては、6年生と保護者による4つのブースを回るスタンプラリーです。体験ができゲーム的な要素もあったので、時間を忘れ、目的意識をもって楽しく過ごすことができました。

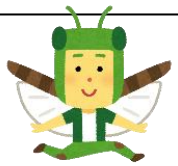

【歯の動画視聴】

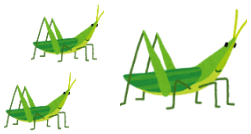

【歯のクイズ】


【噛むカチェック体験】


【歯のかるた】







給食試食会　9／11（金）

1年生保護者（希望者）を対象に給食試食会を行いました。給食の試食だけでなく、1年生児童が給食を食べる様子の参観や、栄養士による講話がありました。



水泳学習

本校の水泳学習は今年も9月を中心に、TAIKOスポーツセンター田布施のプールで行っています。専門家による指導のもと、泳力が高まっています。





馬島見学　9／17（木）

3年生が地域学習の一環で、馬島見学に出かけました。子どもたちは、貝殻やきれいな石を拾ったり、水遊びを楽しんだりして地域の自然を満喫しました。隣接する刎島（はねしま）には潮位の都合で渡れませんでしたが、潮の満ち引きによって陸続きになったり離れたりすることを学びました。





「ふれあい夢通信」について

山口県教育委員会では、「ふれあい夢通信」ホームページに、「第８３特集号（2026 秋号）」を掲載しています。県教育・イベント情報などが掲載されています。

山口県の教育に関するさまざまな情報が得られますので、ぜひ御一読ください。